

南部町防災マップ

南部町では、大雨等により災害発生の危険が高まった場合あるいは災害が発生した場合に、町民の皆さんがすばやく安全な場所に避難し、被害を最小限に抑えることを目的として「南部町防災マップ」を作成しました。浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難所など、このハザードマップを用いて確認してください。

お問い合わせ先：南部町役場 総務課 TEL：0859-66-3112 / FAX：0859-66-4806
〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377番地1 URL：http://www.town.nanbu.tottori.jp/

土砂災害の種類と前兆

土石流

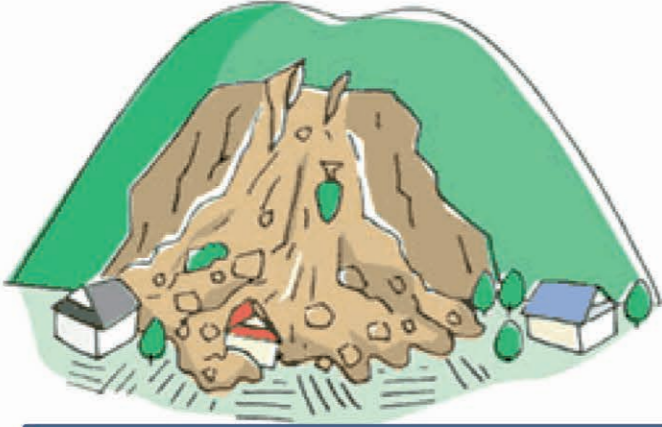


谷に溜まった土石や、斜面が崩れ、大雨による水と一緒に一気に流れ出して起こります。破壊力が大きく、流れる速度も速いため大きな被害をもたらします。

土石流の前兆

- 山鳴りや立木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める。

がけ崩れ



地面にしみ込んだ雨が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちます。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので逃げ遅れる人も多く被害が大きくなります。

がけ崩れの前兆

- がけからでる水が濁る。
- がけに亀裂が入る。
- 小石がバラバラ落ちてくる。

地すべり



比較的穏やかな斜面において、粘土層などが地下水の影響で、ゆっくり動きだす現象です。一度に広範囲で発生するため、住宅や道路などに大きな被害をおよぼします。

地すべり前兆

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。

避難情報について		
発令区分	発令時の状況	皆さんの行動
避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者等、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階。 人的被害の発生する可能性が高まった状況 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する方は、避難所等への避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始）してください。 上記以外の方は、家族との連絡、非常用持出品の用意など、避難の準備を開始してください。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> 通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階。 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 	<ul style="list-style-type: none"> 通常の避難行動ができる方は、避難所等への避難行動を開始してください。
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 前兆現象の発生や現在の切迫した状況。人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 人的被害の発生した状況 	<ul style="list-style-type: none"> 避難勧告等の発令後で避難中の方は、直ちに避難行動を完了してください。 まだ避難していない方は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動をしてください。

※土砂災害警戒情報とは、大雨警報を発表している中で大雨によって土砂災害の発生のおそれが高まったときに、市町村が行う避難勧告等を発令する際の判断や町民の皆さんの自主避難の参考となるよう、県と鳥取地方気象台が発表する防災情報です。

※避難情報の発令にあたっては、上記の判断基準及び各種気象情報を含め、総合的に判断します。

※土砂災害警戒情報が発表されていない場合でも、降雨の状況や周辺の状況を確認し、土砂災害発生の危険性を感じた場合には、速やかに自主的に避難してください。

避難のころえ



- ①安全な避難路の確認を
- ②非常持ち出し品の事前準備を
- ③正確な情報収集を
- ④避難の呼びかけに注意を



- ⑤お年寄りなどの避難に協力を
- ⑥動きやすい格好、2人以上での避難を
- ⑦車での避難はひかえて
- ⑧堤防に車を放置しない

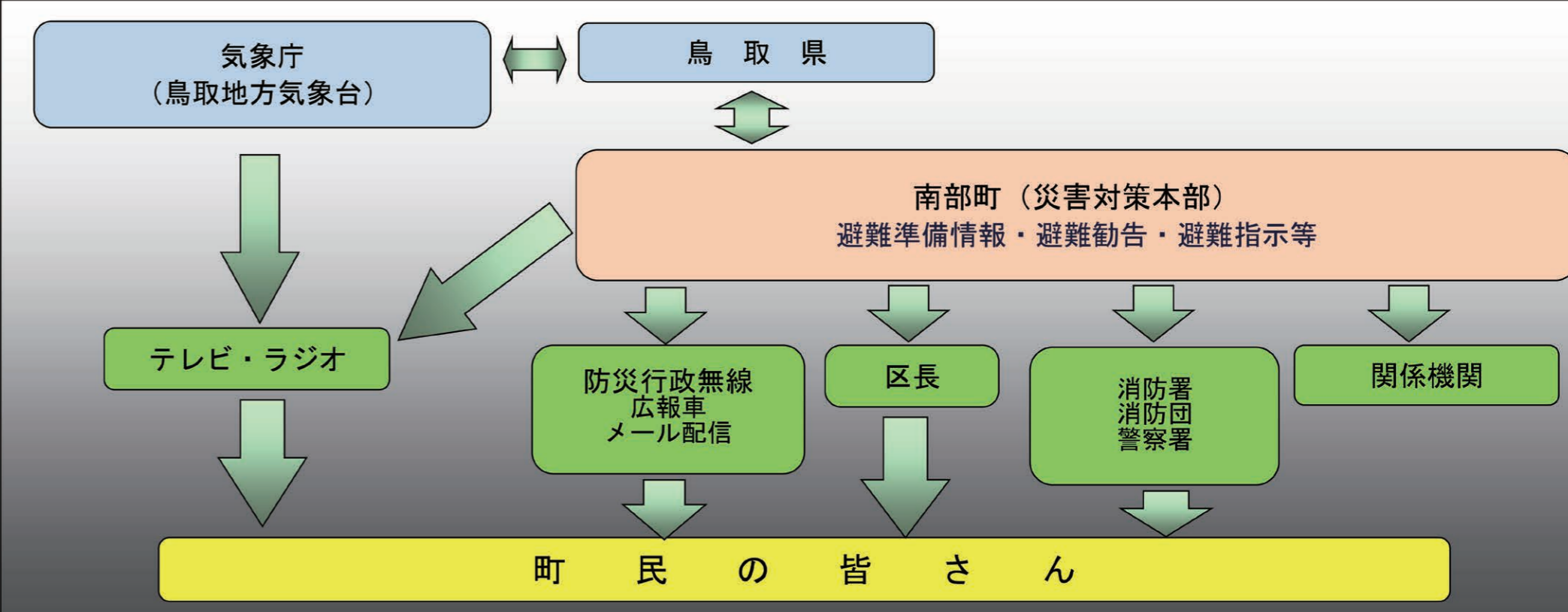
気象情報等の入手先（このほかにテレビやラジオを視聴してください）

- 鳥取県防災情報（土砂災害警戒情報、河川情報、気象情報など）
（パソコン）<http://tottori.bosai.info/>（携帯電話）<http://tottori.bosai.info/mobile/>
- 鳥取地方気象台（気象情報）
（パソコン）<http://www.jma-net.go.jp/tottori/>（固定電話）177
- 国土交通省 川の防災情報
（パソコン）<http://www.river.go.jp/>（携帯電話）<http://i.river.go.jp/>
- 国土交通省 防災情報提供センター
（パソコン）<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
（携帯電話）<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

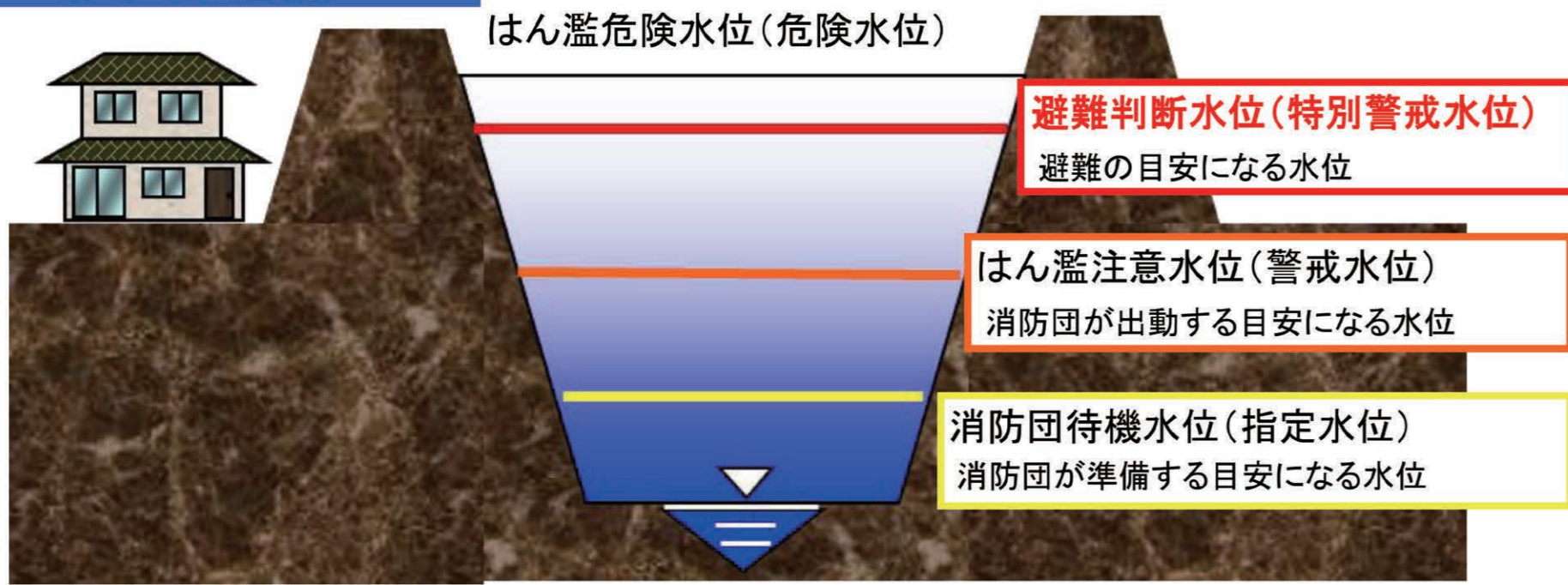
- NTT 災害用伝言ダイヤル（自宅以外の電話や携帯電話からも使えます。）
 - ①伝言を録音する場合 1771+1+（***）-***-****（ご自分の電話番号）
 - ②伝言を再生する場合 1771+2+（***）-***-****（安否等を確認したい相手の電話番号）
- NTT web171（災害用ブロードバンド伝言板）
パソコンから <https://www.web171.jp/>（利用方法はホームページをご覧ください。）

避難情報伝達の流れ

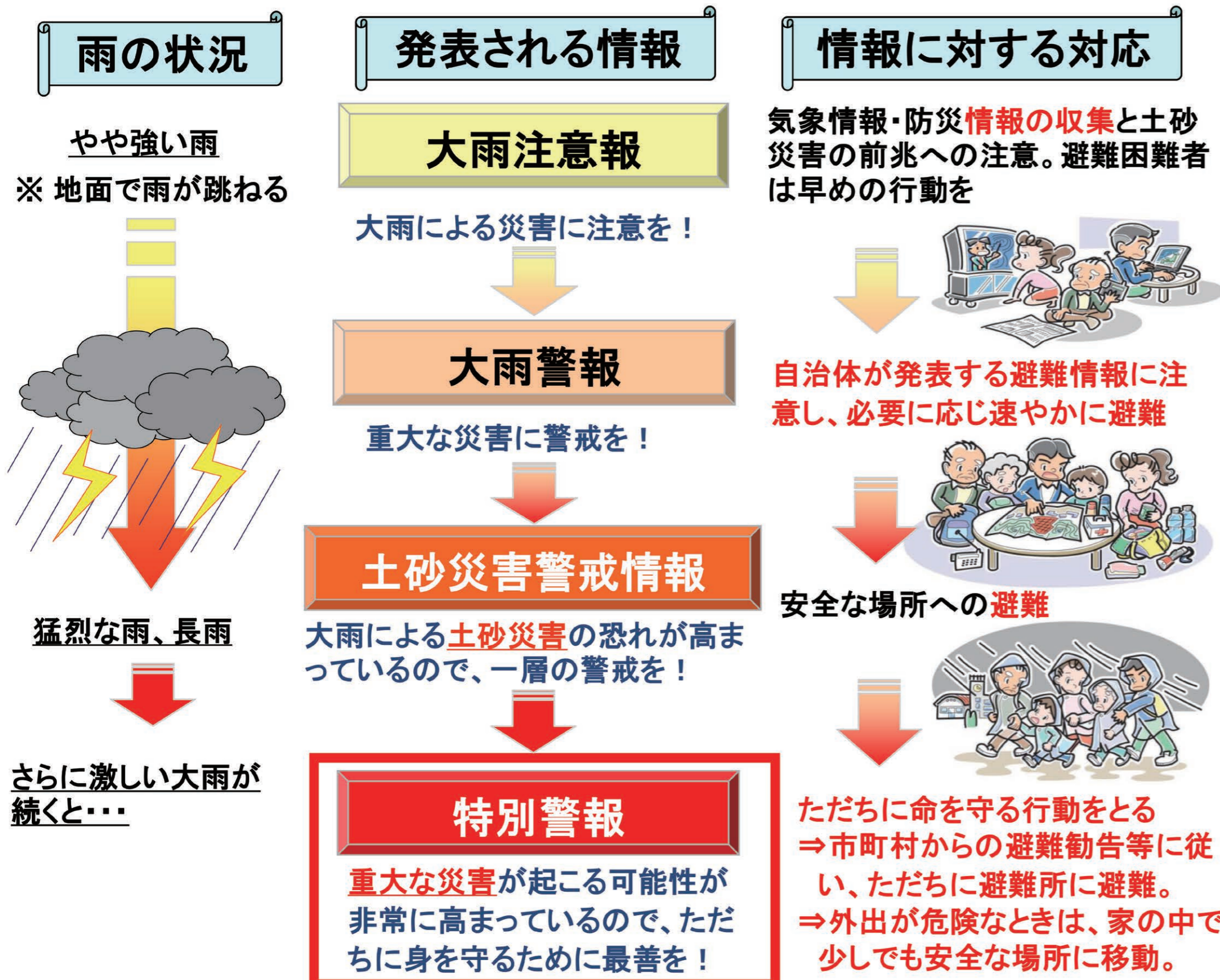
気象注意報・警報、避難準備情報・避難勧告・避難指示等は、次のような経路で皆さんに伝達されます。



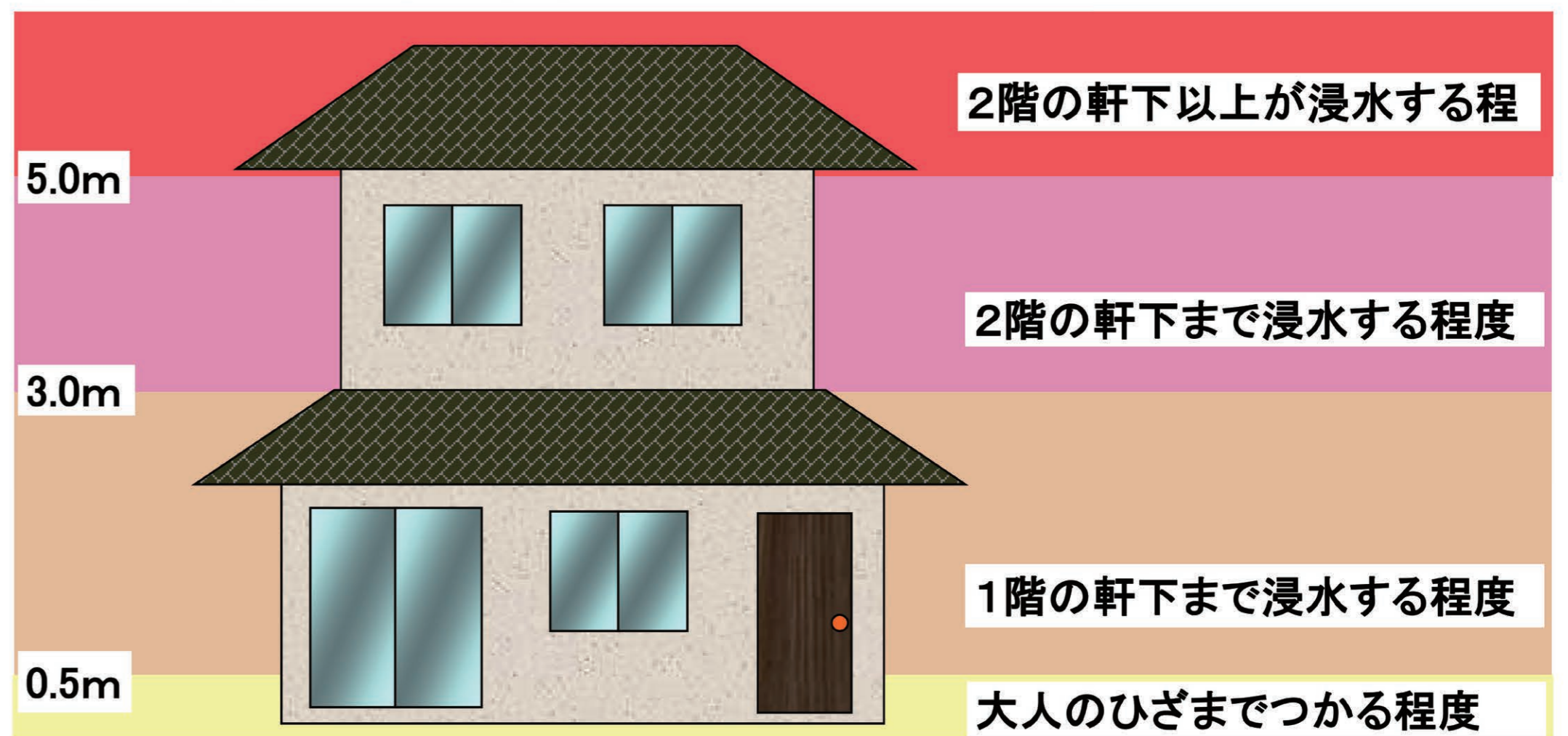
水位の種類



防災気象情報に基づく対応



浸水深(浸水の深さ)の目安



※この図は、浸水深の深さの目安を表したものです。

雨量の目安

雨量	特徴	被害の予想
やや強い雨 1時間雨量 10~20mm	ザーザーと降り、雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意して、危険と判断した場合は、警報や避難勧告が出る前でも、早めの避難準備や避難を心がけましょう！
強い雨 1時間雨量 20~30mm	どしゃ降り、傘をさしてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。側溝等があふれる。	非常に激しい雨 1時間雨量 50~80mm 滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
激しい雨 1時間雨量 30~50mm	バケツをひっくり返したように降り、道路が川になる。危険地帯では避難の準備が必要。	猛烈な雨 1時間雨量 80mm以上 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

特別警報発表基準(一覧)

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合